

平成29年度ラジオメディカルセンター放射線監視委員会 会議録

開会時刻 平成29年10月3日(火) 午後2時

出席者 委員 8名中4名 事務局職員 4名

事務局 本日は、大変お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。
よろしくお願ひいたします。
本日の日程についてですが、14時50分頃まで会議を行い、会議終了後RMCの現地視察を行います。
現地での終了時間は、RMCでの現地解散として、16時30分頃を目処としております。
次に、開会にあたりまして、滝沢市長よりご挨拶を申し上げます。

滝沢市長 (市長あいさつ)

事務局 ありがとうございます。
ここで、市長は別用務がございますので、退席いたします。

(市長退席)

事務局 それでは、会議の開催に移ります。
ただいまから、平成29年度第1回滝沢市ラジオメディカルセンター放射線監視委員会を開催致します。
本日の監視委員会には、委員総数8名中、4名のご出席でございますので、設置要綱第5条第3項の規定により半数に達しておりますので、本日の委員会が成立したことを報告させていただきます。
それでは、これ以降の会議につきましては、滝沢市ラジオメディカルセンター放射線監視委員会設置要綱第5条により、会長に議長をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

議長 それでは、要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきます。
本日の会議の進行につきましては、ご出席の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。
協議に入ります前に、事務局より本会の傍聴者についての報告をお願いします。

環境課長 委員会の会議に関しましては、原則公開することとなっており、市ホームページ掲載により、事前にお知らせいたしており、4名の方の傍聴希望者がいらっしゃいますが、その内1名は盛岡市にお住まいの方です。従来、傍聴者は滝沢市民及び報道関係者としてのことから、そのほかの3名に入場を認めてよろしいでしょうか

議長 ただ今、事務局からご説明がありましたように、原則公開となっておりますので、3名の方の入場を認めてよろしいでしょうか。

委員 ちょっと待ってください。こういった会議は議会でも原則公開となっております。滝沢市民に限らず、傍聴を認めるべきではないでしょうか。それでは密室で会議を行っていることにならないでしょうか。
今まで、最初の頃は、委員会の冒頭で傍聴者を認めるかどうかをその都度審議して、滝沢市民のみとしてきたものと記憶しています。

委員 会議の公開については、一定のルールにのっとって決定されるべきものと思ひます。

委員 私たちは、別に何も秘密にしているわけでも隠しているわけでもありません。

ただ、よそから関係のない人がやってきて、RMC開設当初のように、会議の一部を悪意に言い立てられるようなことがあると大変迷惑です。

昨年の新核種にしても、医薬品であり、それで助かっている人がたくさんいるのだから、廃棄物の処理にしてもきちんとやってもらえばそれでいいと思います。

何度も言うが、秘密も隠し事もないが、関係のない人には入ってほしくない。

議長 ただいまのご意見を踏まえまして、いかがでしょうか。

(この間発言なし)

議長 それでは、本日の会議につきましては、滝沢市民と報道関係者のみ傍聴者として入場を認めるということで、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(傍聴人入場)

議長 傍聴人の方に申し上げます。会議開催中は、静粛にし、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明することのないようにお願いします。

それでは、議事に入らせていただきます。「2協議事項(1)平成28年度RMC環境放射能測定結果について」を事務局より説明願います。

事務局 それでは、平成28年度RMC環境放射能測定結果報告をご説明申し上げます。事前にお送りいたしました資料1をご覧ください。

測定につきましては、平成27年度の測定基本計画に基づき実施しております。

1ページ目、2ページ目ですが、滝沢研究所開設にともない締結した公害防止協定に基づき、施設の操業による排気と排水中の放射能濃度を測定しているものです。測定機器名については、報告書に記載のとおりです。

1ページ、排気中の放射能濃度の測定結果についてですが、全放射能、ヨウ素125、いずれも発生源から検出限界値未満という結果です。

測定回数につきましては、週毎の測定を行っている事により、測定回数が4回または5回となります。

次に、2ページ、排水中の放射能濃度の測定結果についてですが、全放射能、ヨウ素125、いずれも発生源から検出限界値未満という結果です。

測定回数につきましては、排水槽が満杯になった時にサンプリングおよび測定をして放射能濃度を確認の後に放流している事から、回数がゼロの月は、排水が行われなかったこととなります。

従いまして、1ページの排気中、2ページの排水中の環境放射能につきましては、どちらも国の基準、公害防止協定に定める基準を下回るという結果です。

次に、3ページ、空間線量率の測定結果について、ご説明申し上げます。これも、公害防止協定に基づき測定しているものです。

測定場所は、アイソトープ協会滝沢研究所の正面入り口に設置しているモニタリングポストで行っております。

(4)測定結果の表をご覧くださいように、今年度の測定値は、平均値・最大値とも平成22年度3月以降の測定の範囲内または下回る傾向であります。

次に、4ページの積算線量の測定結果です。

3ヶ月毎の積算の線量を測定しているもので、値は90日換算となります。

測定結果について、「過去の測定値」と比較し値が高いのは、福島原発事故によるものと考えています。

次に、5ページ以降の環境試料の測定結果について、核種分析の方法ですが、従来どおりゲルマニウム半導体検出器による分析方法です。

6ページと7ページをご覧ください。

これは、環境試料として、土壌、河底土、河川水、水道水、玄米、牧草、牛乳に含まれるガンマ線の測定結果です。

6ページ、No.13からNo.19の土壌についてですが、これら土壌は、年2回測定しており、測定場所はRMC施設周辺から6ヶ所、市役所から1ヶ所、計7箇

所です。

土壌についての測定結果につきましては、いずれも検出限界値未満です。

次にNo.20、21の河底土及びNo.22、23の河川水についてですが、採取場所はいずれも2ヶ所、砂込川の排水放流地点の上流と下流です。

No.24の水道水については、滝沢市一本木にあります簡易水水道室から採取しています。

河底土、河川水、水道水について、すべて検出限界値未満という結果です。

7ページ、No.26の2からNo.35までの玄米につきましては、RMC施設周辺から9ヶ所、市役所周辺から1ヶ所、計10ヶ所で試料採取し測定しております。

玄米の測定結果につきましては、すべて検出限界値未満という結果です。

No.41の牧草は、年1回測定しております。

No.39の牛乳は年3回提供していただいておりますが、これらにつきましても、検出限界値未満という結果です。

次に8ページ、9ページの説明に移らせていただきます。

これは公害防止協定で定める核種以外ですが、当初から委員会の申し入れで自然界に存在するセシウム137、カリウム40につきまして参考資料として毎回お出ししているものです。

測定結果につきましては、従来より数値が高くなっておりますが、福島原発由来のものと推測しております。

次に10ページ、河川水、水道水に含まれる全ベータ線の測定結果です。

これは、ストロンチウム89、イットリウム90が、ベータ線しか放出しないためです。

試料が水のみであるのは、ストロンチウム89、イットリウム90いずれも水に溶けやすいことから、砂込川のRMC排水地点の上流及び下流、それと比較するため水道水についても、全ベータ線の測定をしています。

結果は、いずれも検出値限界未満となっております。

次に11ページから18ページまではスペクトル図です。

11ページのバックグラウンド（ブランク）は、測定試料を置かない状態での測定であり、ピークのエネルギーと核種で記載しております。その他の試料のスペクトル図については、ブランクの値を差し引いても検出限界を超えたピークにはマーカー表示により、ピークの説明をつけております。

以上が平成27年度環境放射能測定の結果報告となっております。

説明を終わります。

議長 それでは、事前に委員の皆様より質問事項を頂いておりますので、ご質問の趣旨発言をお願い致します。

なお、報告書以外に係るご質問については、会議終了後、現地視察の際、ラジオメディカルセンターより回答することとし、また、滝沢市への要望事項については、次第3の「その他」で回答することといたします。

それでは、委員よろしくお願ひいたします。

委員 P8の河川水、水道水の¹³⁷Csの検出限界値を知りたいのですが。

議長 ほかに、提出いただいた質問事項に限らず、事務局からの説明について、何かご質問等ございませんか。

(なしの声)

議長 ただいまのご質問について、事務局より説明をお願いします。

事務局 多少のばらつきはありますが、およそ 4×10^{-3} Bq/l前後とのことです。

議長 ほかに、何かご質問等ございませんでしょうか。

(なしの声)

議長

ご質問等がほかになければおはかりしたいと思います。
ただいまの事務局の説明のとおり了承したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

議長

ご異議なしとのことですので、協議事項の(1)については了承することといたします。
次に協議事項の(2)、平成29年度RMC環境放射能測定中間報告についてを事務局より説明願います。

事務局

それでは、平成29年度RMC環境放射能測定結果の中間報告をご説明申し上げます。資料2「平成29年度RMC環境放射能測定中間報告」をご覧ください。測定につきましては、平成29年度の測定基本計画に基づき実施しております。

1ページ目、2ページ目ですが、滝沢研究所開設にともない締結した公害防止協定に基づき、施設の操業による排気と排水の中の放射能濃度を測定しているものです。測定機器名については、報告書に記載のとおりです。

1ページ、排気中の放射能濃度の測定結果についてですが、全放射能、ヨウ素125、いずれも発生源から検出限界値未満という結果です。測定回数につきましては、週毎の測定を行っている事により、測定回数が4回または5回となります。

次に、2ページ、排水中の放射能濃度の測定結果についてですが、全放射能、ヨウ素125、いずれも発生源から検出限界値未満という結果です。測定回数につきましては、排水槽が満杯になった時にサンプリングおよび測定をして放射能濃度を確認の後に放流している事から、回数がゼロの月は、排水が行われなかったこととなります。

従いまして、1ページの排気中、2ページの排水中の環境放射能につきましては、どちらも国の基準、公害防止協定に定める基準を下回るという結果です。

次に、3ページ、空間線量率の測定結果について、ご説明申し上げます。これも、公害防止協定に基づき測定しているものです。測定場所は、アイソトープ協会滝沢研究所の正面入り口に設置しているモニタリングポストで行っております。

(4)測定結果の表をご覧くださいように、今年度の測定値は、平均値・最大値とも平成22年度3月以降の測定の範囲を下回る傾向であります。

次に、4ページの積算線量の測定結果です。

3ヶ月毎の積算の線量を測定しているもので、値は90日換算となります。

測定結果について、過去の測定値と比較し値が高いのは、福島原発事故に由来するものと考えています。

次に、5ページ以降の環境試料の測定結果について、核種分析の方法ですが、従来どおりゲルマニウム半導体検出器による分析方法です。

6ページと7ページをご覧ください。

今年度の監視計画につきましては、環境試料のうち土壌、河底土、河川水、水道水、牛乳につきましては、今年度から採取回数を年1回とすることでご承認いただいております。採取時期につきましては、9月末に実施したところであり、今日時点では測定結果がえられておりません。

玄米につきましても、まだ刈り取り時期ではありませんので、こちらについても未実施となっております。

No.41の牧草は、年1回、今年度は5月に採取し、測定しております。これは公害防止協定で定める核種以外ですが、当初から委員会の申し入れで自然界に存在するセシウム137、カリウム40につきまして参考資料として毎回お出ししているものです。

環境試料の採取時期についてですが、今年度は当初の計画で、土壌等を9月に採取することとしておりましたので、今回の中間報告にはそれらの測定結果をお

示しできませんでした。来年度は採取時期を早め、監視委員会の中間報告の際に、測定結果をお示しできるようにしたいと考えております。

次に11ページから12ページまではスペクトル図です。

11ページのバックグラウンド（ブランク）は、測定試料を置かない状態での測定であり、ピークのエネルギーと核種で記載しております。その他の試料のスペクトル図については、ブランクの値を差し引いても検出限界を超えたピークにはマーカー表示により、ピークの説明をつけております。

以上が平成29年度環境放射能測定の中間報告となっております。

議長 それでは、事前に委員の皆様より質問事項を頂いておりますので、ご質問の趣旨発言をお願い致します。

委員 中間報告P3の空間放射線量率測定結果について、7月の最大値40.9n Sv/hは他の月と比べて高い。この日と原因が分かれば。

議長 ほかに、提出いただいた質問事項に限らず、事務局からの説明について、何かご質問等ございませんか。

(なしの声)

議長 ただいまのご質問について、事務局より説明をお願いします。

事務局 最大値は7月23日の値です。原因としては、降雨による影響だと思われます。この日は、滝沢研究所の雨量計で1日に117mmの降雨が観測されています。

議長 ほかに、何かご質問等ございませんでしょうか。

議長 ご質問等がほかになければおはかりしたいと思います。ただいまの事務局の説明のとおり了承したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

議長 ご異議なしとのことですので、協議事項の(2)については了承することといたします。

次に協議事項の(3)、平成30年度RMC環境放射能測定基本計画(案)についてを事務局より説明願います。

事務局 それでは、協議事項の(3)につきまして説明いたします。

1ページ目、1、測定の目的はラジオメディカルセンター周辺環境放射能の監視測定を実施し、地域住民の健康と安全の確保を図るものであります。

2、実施機関は滝沢市、3、測定地域はRMC周辺おおむね1km内の地域とします。

4、測定項目は、今年度と同様に発生源、環境放射線、環境試料別の放射能の測定を行います。

5、測定、環境試料の採取地点ですが、こちらも今年度と同じ地点で行うこととします。このうち、飲料水の採取につきましては、今年度の採取場所である滝沢市一本木簡易水道室が9月末で閉鎖されております。

来年度も同地点からの採取を予定しておりますが、今後の施設利用状況から採取場所の変更も想定されます。

環境試料の採取についてですが、土壌、河底土、水、米、牧草、牛乳につきましてそれぞれ年1回の採取とします。

以上で説明を終わります。

議長 ただいまの事務局からの説明について、ご質問等ございますでしょうか。

委員 (なしの声)

議長 それでは、平成30年度の測定計画について承認したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

議長 それではご異議なしと判断いたしまして、平成29年度の測定計画について承認することとします。

次に、次第の3、その他について、委員より事前に滝沢市への要望事項が提出されていますので、事務局より説明願います。

事務局 それでは、説明いたします。

まず1点目、新核種廃棄物の搬入計画については、滝沢市民や玉山住民、RMC監視委員会に丁寧に説明し、慎重に進めてほしい。

市民玉山住民説明会の開催、監視委員会の事前に資料配布をすること、また、学識経験者やRMC職員への質問発言時間を保障してほしいとのご要望です。

こちらにつきましては、今後、新核種持込についての申し入れ等があった際には、その都度必要に応じて、その対応等について検討して参ります。

2点目、公害防止協定書、締結覚書、監視委員会設置要綱、RMC監視委員会議事録を市のHPで公開してほしいとのご要望です。

こちらにつきましては、今までは市HPには掲載しておりませんでしたが、まず、公害防止協定書、締結覚書、監視委員会設置要綱については、既に内容について決定している事柄ですので、市HPに掲載いたします。

監視委員会議事録につきましても、会議は公開扱いとなっておりますので、そのHPに掲載することは可能ですが、公開の際、個人名が特定できないような表記が原則となっておりますが、そのようなかたちでよろしいか、委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。

議長 委員の皆様いかがでしょうか。

委員 私は公開すべきと思いますが、他の委員さんのお考えもあるでしょうから。

委員 私も特にどちらでも。

委員 私は事務局の案でお願いしたいと思っております。

事務局 議事録公開の原則は個人名が特定されないこととなっております。個人名を表記すべきという積極的なご意見がなければ、原則に沿って公開したいと思います。いかがでしょうか。

(意見なし)

3点目です。滝沢市の美しい景観は宝物です。環境の質を守り、人々が安全安心に暮らしていけるようにご尽力くださいとのご要望ですが、

環境という言葉には様々な側面があると思っておりますが、今後も滝沢市内の環境の保全、に尽力して参ります。

以上でございます。

議長 それでは、他に委員の皆様よりなにかございますか。

委員 HPで公開していただけるということで、非常に良かったと思っております。新核種の持ち込みについて、必要に応じてということでしたが、もう少し詳しく説明願えればと思っております。

- 事務局 いろいろなお考えがあると思います。また、これからの社会、医学、科学の進展もあるかと思えます。
想定、仮定では詳細なお話はできませんし、特定のものを想定したお答えもできませんので、その都度検討をして参ります。
- 委員 今回覚書締結前に委員会に報告されたわけですが、今後もそういったかたちでしょうか。
- 事務局 ただいまのご質問につきましても、具体の事例があった際に検討して参ります。
- 委員 以前に新核種追加の際に、事前に監視委員の意見を聞くというお話もあったのですが、今後そういったことはないのでしょうか。
- 事務局 現時点では搬入計画はありませんので、今後どういった申し入れがあるか全く分からない状態です。昨年度来、様々住民の方々や、監視委員の皆様からご意見がありましたので、そういったご要望を踏まえたかたちで、新しい申し入れがあった時には、どのようにその安全性をお知らせし、審議していくかを総合的に判断して参りたいと考えております。
- 議長 他に委員の皆様よりなにかございますか。
- 委員 モニタリングポストについて、RMC 1 か所だけだと、他と比べて高いのか低いのか判断できないと思えます。
盛岡など、県内のほかの場所でも測定して、比較できればよいと思えます。
- 委員 福島第1原発の事故後、県内10カ所にモニタリングポストを設置して24時間測定を行っています。岩手県のHPでも過去の測定値等閲覧できるので、参考になると思えます。なお、滝沢のこの数値については、他と比べて特に優位性などはないと思われま。
- 事務局 次回以降、県のHPよりデータを引用して、参考資料としてお示ししたいと思います。
- 議長 その他なにかございますか。事務局からは。
- 事務局 1点報告いたします。
先ごろ、日本アイソトープ協会と滝沢市との公害防止協定について、見直しを行うよう、滝沢市議会に対して請願書が提出されました。
この請願につきまして、滝沢市議会9月本会議で審議の結果、不採択となりましたことを報告いたします。
- 会長 他に何かございますでしょうか。

(なしの声)
- 会長 特になければ、以上で平成29年度RMC監視委員会を閉会させていただきます。
委員の皆様、ご苦勞様でした。

閉会時刻 平成29年10月3日(火) 午後3時5分 会議終了。